

大項目	項目	評価	講評
課題適格性	文章量は指示通りであるか	C	グラフなどで文字数を稼いでいるが、一応400字詰め20枚の分量と見なせる。規定が25枚なので80%。
	要求された課題に沿った内容であるか	C	大学で要求されるレポートにおいては、「あなたの考えを自由に述べなさい」というのは「学術的に論点を適切に設定して、それに即して論じよ」という意味である。
文章適格性	語句・キーワードは的確に用いられているか	D	用語の使い方に多数の間違ひがある。指示代名詞の使い方が曖昧で読み取れない箇所がある。
	文が日本語として成立しているか 一文一義を意識できているか 接続詞は適切に使われているか	D	主語と述語のねじれなど日本語として不自然な文が多数ある。
	パラグラフライティングが出来ているか (段落が適切に使われているか)	C	段落分けに一応の意識はある。パラグラフ・ライティングは出来ていない。
	引用は適切に出来ているか	D	引用の形式が完全に間違っており、「剽窃」と見なされてもやむを得ない。
	図表は適切に用いられているか (図表がある時のみ)	D	グラフが読み取り不能な物になっている。表・グラフが本文で参照されていない。
論文としての価値	タイトル(論文名)は適切か	C	一般的すぎて全く具体性がない。何を論じようとしているのかが曖昧。
	論文の問い・目的(論点)は明確か	D	「私」の死刑に対する賛否を述べているだけで、一般的な論点は全く提示していない。
	問いの背景を説明し、問いの意義を提示しているか (先行研究の紹介等)	D	自分の周りの人という曖昧な対象の賛否という意見動向を主観的に述べているだけである。
	問いに対する答えは明確になされているか	D	問いと答えのペアが読み取れない。
	答えを導く根拠は具体的に提示されているか	D	論証というものが一切なされていない。
	論文の構成になっているか (章立てが適切になされているか)	D	「はじめに」と「μ国の話」の2章構成で論文の章立てとして不適切。
総合評価	C	どうやら授業は聞いていたようであり、授業担当者として単位を落とすに忍びない。ライティング実習の担当者が責任を取りやがれ!	